

令和5年度 今治市火葬場（伯方斎場） 指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市火葬場（伯方斎場）
所在地	今治市伯方町木浦乙1003番地2
指定管理者	<p>名称 富士建設工業 株式会社</p> <p>代表者 代表取締役 鳴海 利彦</p> <p>住所 新潟県新潟市北区島見町3307番地16</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課 (問合せ先)	<p>今治市 市民環境部市民環境政策局 環境政策課</p> <p>TEL : 0898-36-1535</p> <p>E-mail : kankyou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	<p>仕様書に基づき、施設の維持管理と保守点検等を適切に実施し、儀式的円滑な執行と来場者の安全確保に努めてまいりました。また、研修を行い職員の意識向上と管理技術の習得に努め業務に取り組んでまいりました。今後、施設の設置目的や基本方針をより深く理解し、利用者にとって満足度の高い施設管理、運営を目指してまいります。</p>	A	<p>適正に実施されていた。施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、適切な管理運営がなされている。条例、規則、仕様書について、研修を実施し理解に向けた取組が認められた。今後も研修等で職員教育を行い、適切な管理運営に努められたい。</p>
利用状況	A	<p>施設利用者アンケート箱からのご意見や、アンケート調査の結果から、高い評価を頂きました。今年度も調査期間を1ヶ月とし、3回実施しました。 昨年、待合室の「座椅子」の設置と、ロビーから待合の和室の段差のバリアフリー化の要望がございました。こちらに関しては、「座椅子」「車椅子スロープ」を購入し設置しております。</p>	A	<p>利用者へのアンケート結果より、比較的高い満足度が得られている。これは、施設の維持管理や、職員の利用者への配慮が高く評価されたものと解される。</p>
事業収支	B	<p>今年度は黒字となりました。昨年に引き続き光熱費の高騰もありましたが、火葬件数が昨年に比べ戻すほかに減少し経費が後半に浮いた事が要因です。 また、小規模な修繕に関しては職員で実施し経費を浮かす事ができました。今後も経費削減に努め、より健全な管理運営を行って参ります。</p>	B	<p>適正に実施されていた。燃料費の高騰により光熱水費が予算を超過したが黒字決算となった。今後は光熱水費の価格変動に注視し、経費削減をはかり安定した経営を目指されたい。また、燧風苑の運営とも調整を図りつつ、柔軟で効率的な人員配置による経費の削減に努められたい。</p>
管理運営体制	A	<p>職員配置に関しては、古川・越智・一色・長崎・近藤による5名体制で管理・運営を行いました。 組織体制については、事業計画に沿って利用者に質の高い葬送空間を提供できるよう、全職員（燧風苑含む）に定期的もしくは適時研修を実施しました。</p>	A	<p>適正に実施されていた。研修実施計画を策定し、一年間計画的に多くの研修を実施した。また、業務の一部を障がい者就労支援関係事業所へ委託していることが確認できた。 今年度も職員の変動がりましたが、全職員で協力し、仕事をしやすい雰囲気づくりや、職員が長く働きたいと思える職場作りに努められたい。</p>
管理運営業務	A	<p>施設的美観を損なわぬよう仕様書に基づき植栽管理や清掃管理を行ってまいりました。 火葬炉及び周辺機器に関してましても、工務部と連携を取り職員での定期的なメンテナンス・軽微修繕を実施し、良好な状態を維持しております。 今後も、火葬炉メーカーとしての強みを活かしつつ、火葬炉、施設、植栽の維持管理に積極的に努めてまいります。</p>	A	<p>適正に実施されていた。火葬炉設備等の施設設備の保守点検業務や警備業務など仕様書の基準に基づき適切に実施されている。こまめな点検を実施し、不備不具合がある時には、速やかに修繕や報告を行われたい。</p>
利用業務	B	<p>仕様書に基づき、受付・案内を円滑に実施し利用者の心情に配慮した炉前の儀式進行に努めました。今後も職員の対応や接遇のレベルアップを図り、利用者の心情に配慮した接遇を心掛けてまいります。</p>	B	<p>適正に実施されていた。利用業務全般においては、仕様書に基づいた適切な実施が認められた。今後も研修等で職員教育を行ない、適切な利用業務を実施されたい。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
その他業務	A	<p>昨年に引き続き職員には、常に業務の基本を忘れないよう、朝礼、終礼、ミーティングを利用して、定期的に指導を行いました。日常的に行っている施設内外の点検、見回りは確実に行うよう徹底いたしました。個人情報保護や事故発生時の研修を行い、会葬者が大人数の当家の場合は朝礼などで駐車場の整理や誘導等を打合せしております。</p>	A	<p>適正に実施されていた。各種マニュアルに基づき、防災訓練及び個人情報保護研修が適切に実施されていた。また、チェックリストを使用した事故防止のための定期点検が適切に実施されている。積極的に他施設の事故事例の収集も実施されている。今後も予防活動や研修を実施したり、今回の事故の反省を教訓とし、事故及び災害等の未然防止に努められたい。</p>
修繕業務	A	<p>修繕計画のうち、火葬場において最も重要な火葬炉設備については、火葬炉メーカーとして積極的に中長期修繕計画を策定するとともに、その計画については、今治市の意向に沿ったより効果的な計画とするために、絶えず見直しを実施しております。 今年度も応急的な修繕や定期的なメンテナンスに速やかに対応できました。</p>	A	<p>適正に実施されていた。応急的な修繕について、適切な実施が認められた。施設の経年劣化による修繕箇所が出てきているので、適切な修繕計画を整備し修繕を実施されたい。また、日常点検及び保守点検業務についても適切に実施し、早期発見報告に努め、今後市が実施する修繕のための長期計画策定に協力いただきたい。</p>
備品管理業務	A	<p>利用者アンケート調査内容や利用者のお声を直接お聞きし、今後も利用者の利便性向上のため、効果的な備品の購入を行ってまいります。 今年は利用者からの要望を反映し「座椅子」「車椅子スロープ」を購入し、待合棟に設置致しました。</p>	A	<p>適正に実施されていた。定期的な備品検査の実施により、適切な備品管理が認められた。今年度は、利用者のニーズや利便性に応じた備品購入もあった。今後も適切な備品管理事務に努められたい。</p>
行政財産の目的外使用許可 手続業務				
自主事業	B	<p>「写真の展示」については、今治地方観光協会を通じて、公益社団法人今治地方観光協会より風景写真をご提供いただき、風景写真についても、地域の特性に沿った実施を行い伯方島とその周辺の写真を展示いたしました。地元の方また伯方島へ来られる方により快適に過ごして頂ける様、今年度もビーチ清掃を行い、環境作りのお手伝いを少しでもさせて頂きたく実施致しました。7月9日予定されていた市民大清掃については天候不順の為中止となりましたが、9月5日/9月8日と斎場職員にて火葬場経路の「ゴミ拾い」「草刈り」「除草」を実施致しました。</p>	B	<p>適正に実施されていた。地域に根ざした取組として、地元の写真展示や清掃の実施がされた。施設の性格上、自主事業の実施は難しいと思われるが、事業の継続をお願いしたい。また積極的に新しい事業を提案・実施することが望まれる。</p>

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
地域団体との連携	B	<p>市民サービスの向上と円滑な業務遂行のため、葬祭業者の皆様と連絡協議会を開催いたしました。葬祭業者の皆様より貴重な意見を聞き、また指定管理者から業者の皆様にも斎場使用に関するお願いをするなど、有意義な意見交換の場となりました。</p> <p>市民大清掃や伯方ビーチ清掃等今後も継続し各種地域活動に参加してまいります。</p>	B	<p>適正に実施されていた。葬祭業者との定期的な協議会の開催により、施設の円滑な利用促進のための協議がなされている。いろいろな機会を捉えて地域との交流をはかり、貴重な意見を収集し今後の施設運営に生かしていただきたい。</p>
利用者アンケート	A	<p>アンケートの実施に際しては、利用者、葬祭業者にご協力いただくとともに、貴重なご意見をいただきました。今年度も調査期間を1ヶ月とし3回実施いたしました。アンケート結果の貴重な意見を今後の斎場運営に生かしていきたいよう、課題については速やかに対応策を講じてまいります。</p>	A	<p>適正に実施されていた。アンケートの実施にあたっては、事前に市と協議を行っており適切に実施されている。今後も、アンケートを実施し、利用者ニーズや満足度を把握し、業務改善に生かされたい。また、アンケート結果を分析し、要望等について適切な措置を講じられたい。</p>
事故・苦情	A	<p>今年度も大きな事故・苦情等はありませんでしたが、収骨時にお骨壺の蓋が落下し破損してしまう物損が発生致しました。</p> <p>即日、防止対策を職員で検討し22日に「伯方斎場収骨時における骨壺蓋破損事故における防止対策」を作成し提出致しました。</p> <p>今後は業務中の事故には細心の注意を払い二度と発生させないよう努めてまいります。</p>	A	<p>適正に実施されていた。定期的な施設内の点検が実施されており、設備等の事故の発生はない。</p> <p>今後も時期に応じた点検等の実施に努められたい。また、他斎場の情報を収集するなど、事故防止へ向けた取組が認められた。今後も、事故・苦情等へ迅速でいねいな対応ができるよう努められたい。</p>
指定管理者の経営状態	/		<p>決算書類等を確認した結果、指定管理者として適正に業務を行えると判断できる。</p>	

総合コメント(市)

指定管理者は、今治市火葬場条例及び施行規則ならびに業務仕様書に基づき、施設の特性をふまえた管理運営に努められており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

事業収支に関して、燃料費の高騰により光熱水費が予算を超過したが黒字決算となった。組織体制においては、積極的に業務の一部を障がい者就労支援関係事業所等へ委託を行った。職員の入れ替わりはあったが、応援や研修により支障の無い運営を行っている。施設の維持管理業務においては、火葬炉運転や保守点検をはじめ全体的に適切な実施がされている。事故等の防止についてはチェックシートを活用した点検が適切に行われている。また、利用者アンケートからも高い満足度として評価されている。

指定管理業務におけるモニタリング結果については、一定の水準を満たしていると認められる。職員の變動に関して全職員で協力し、仕事をしやすい雰囲気づくりや、職員が長く働き続けたいと思える職場作りに努められたい。また、施設の老朽化による大規模な修繕を見据え、こまめに点検報告されたい。